

2013 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	コリア研究センター
研究センター長名	勝村誠

I. 研究成果の概要 (公開項目)

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究センター5か年計画に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。

1. 学術研究事業として、プロジェクト事業を推進した。特に、国際研究事業のひとつである国際シンポジウム、月例研究会を次のように開催した。なお、1月24日のシンポジウムは、第2期コリア研究センター計画書(2011年3月に衣笠総合研究機構常任理事会で議決)にある「R-GIRO 事業『東北アジア・朝鮮半島と日本の疎通と協働—平和構築の視点から』最終年度として、R-GIRO 事業成果を反映させたシンポジウムの開催」に該当する。

(1) 国際シンポジウム

- ① 関東大震災 90 周年国際シンポジウム「関東大震災朝鮮人虐殺から 90 年、国家暴力と植民地主義を超えて」(9月7日)
- ② 「朝鮮戦争を検証する—停戦 60 年目」(11月23日)
- ③ 「Korea-Japan Intellectuals Bridge Round Table 日韓の理解・責任・未来のための提言集会」(1月24日)
- ④ 「西欧中心主義批判と 2014 年の朝鮮半島」(2月13日)

(2) 月例研究会

- ① 第 55 回報告: 鄭己烈(中国・清華大学客員教授)「北京から見た朝・中関係—中国の対北朝鮮包囲網支持の真実は?—」
- ② 第 56 回 映画「二つの扉」上映会
- ③ 第 57 回報告: 川瀬俊治(立命館大学コリア研究センター客員研究員、ジャーナリスト)「韓国の原発(核発電所)—歴史と現状」
- ④ 第 58 回報告: 戸塚悦朗(立命館大学コリア研究センター上席研究員/元龍谷大学法科大学院教授)「慰安婦問題の焦点—その犯罪性について」
- ⑤ 第 59 回報告: 郭鋭(中国・吉林大学行政学院 副教授)「中国の対北朝鮮政策の再検討」
- ⑥ 第 60 回報告: 崔賢(済州大学社会科学科教授、現神戸大学大学院国際文化学研究所招聘教授)「共同資源と済州の共同牧場」
- ⑦ 第 61 回報告: 秋葉武(立命館大学産業社会学部准教授)「韓国の社会的経済」
- ⑧ 第 62 回 報告: 徐禎完(翰林大学日本学科教授)「近代能楽史と植民地能楽史」

(3) その他: 韓国ドキュメンタリー・映画上映会

- ① 「二つの扉」—韓国・ソウル再開発地域での惨劇—(6月14日) ② 韓国映画「チスル」を見て済州 4・3 事件を考える集い(11月1日)
- ③ 『塩花の木』の著者・金鎮淑さん来日講演会・「塩花の木々 希望のバスに乗る」上映会(12月4日)

2. 研究成果発信事業

- (1) 『コリア研究』5 号の発行、配布: 特集「関東大震災朝鮮人虐殺から 90 年」、投稿論文 1、寄稿 2、研究動向 3、新刊紹介 6、活動報告等。
- (2) ホームページによる情報公開、成果の公開
- (3) 成果刊行

① 立命館大学コリア研究センター叢書 8 徐勝・小倉紀蔵編『言葉のなかの日韓関係—教育・翻訳通訳・生活—』(明石書店、2013 年 4 月)

② R-GIRO プロジェクト「東北アジア・朝鮮半島と日本の疎通と協働—平和構築の視点から—」の総合レポート『東北アジアの「平和・相生社会」のヴィジョン—持続可能な地域社会の構築を目指して』(2014 年 3 月)

3. 受託教育事業の基盤整備と提携先の開発: 吉林大学東北アジア研究院、独立記念館韓国独立運動史研究所、慶熙大学国際地域研究院、西江大学社会科学研究所、済州大学在日済州人センターと学術交流協定締結。

4. 若手人材育成

- ① 第 8 回次世代研究者フォーラム「朝鮮戦争停戦 60 年からみた東アジア」開催、基調講演・研究報告 16 本、特別報告 2 本
- ② KF(Korea Foundation)による海外韓国学若手研究者奨学生として 2 名を推薦、受給。

II. 研究業績（公開項目）

本欄には、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。（2014年3月31日時点）

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	徐勝	『言葉の中の日韓関係』	共著	2013年4月	明石書店	小倉紀蔵	
2	李康國	Global Imbalances and the Global Financial Crisis: The Role of Global Neoliberal Growth Regime, in Why Regionalism? (Japanese)	共著	2013年6月	Nakanisha		33-60
3	李康國	The Failure of Washington Consensus and Prospects for a New Development Model: From the Perspective of Economic Democracy, in Social and Economic Democracy.(Korean)	共著	2013年11月	Dolbegae		499-529
4	桂島宣弘	『岩波講座日本の思想』第一巻	共著	2013年4月	岩波書店	黒住真他編	117-149
5	桂島宣弘	『日本の対外関係』第五巻	共著	2013年8月	吉川弘文館	荒野泰典他編	292-304
6	中戸祐夫	"Costs and Benefits of Korean Unification for Japan," The Attraction of Korean Unification: Inter-Korean and International Costs and Benefits	共著	2013年12月	Korea Institute for National Unification	Kyuryoon Kim et al.	277-308
7	裴始美	「朝鮮人カミカゼの死と彼らに対する記憶—‘和解’の手段／‘親日’論争を超えて」仁荷大学校韓国学研究所編『東アジアの戦争の記憶—トラウマを超えて—』	共著	2013年	UniStory		115—137
8	裴始美	「韓国・死刑制をとりまく諸問題—映画『私たちの幸せな時間』を通して」		2013年	『銀幕のなかの死刑』インパクト出版会	京都にんじんの会編	70—80
9	裴始美	共訳：金鎮淑著『塩花の木』	共訳	2013年	耕文社	野木香里、友岡有希	

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	徐勝	「韓国併合100年を迎えた日本と韓国：東アジアにおける脱植民地の課題」	共著	2013年9月	『デモクラシーとコミュニティ：東北アジアの未来を考える』			無
2	徐勝	「ファシズムは復活するのか、ファシズムは継続しているのか？」	共著	2013年12月	『21世紀のグローバル・ファシズム：侵略戦争と暗黒社会を許さないために』			無
3	庵途由香	書評 外村大『朝鮮人強制連行』	単著	2013年6月	コリアン・スタディーズ(No.1号)		116-118	無
4	山下高行	「塩花の木々バスに乗る一日韓労働組合運動の共通課題」	単著	2014年1月	国際ハン民族財団、立命館大学コリア研究センター、建国大学校統一文学研究団『日韓の理解・責任・未来のための』		pp.76-85(日本語),PP.86-95(韓国語)。	無

					提言集』報告書			
5	権学俊	近代国民国家における「国民」形成と秩序化される身体	単著	2013年8月	『日本語文学』日本語文学会(62巻)		367-388	有
6	権学俊	戦時体制下日本における国民体力の国家管理と厚生事業	単著	2013年10月	『日本文化研究』東アジア日本学会(48巻)		21-39	有
7	権学俊	日本社会における異質な他者の受容と抵抗に関する一考察	単著	2014年1月	『日本語文学』日本語文学会(64巻)		366-389	有
8	権学俊	近現代日本社会における天皇制とスポーツに関する一考察	単著	2014年2月	『日本研究』高麗大学日本研究センター(21巻)		5-29	有
9	佐々充昭	一九一〇年代以降における朴殷植の民族独立運動と「国魂」論の提唱—大倅教との関係を中心に—	単著	2013年7月	『朝鮮学報』朝鮮学会(第228輯巻)		91-128	有
10	佐々充昭	「朝鮮時代における疫病流行と黄海道九月山三聖祠における檀君祭祀」	単著	2014年3月	『(桃山学院大学)総合研究所紀要』第39巻3号		241~259頁	無
11	金山勉	TVのネット伝送サービスで攻防	単著	2013年5月	メディア展望(617号)		18	無
12	金山勉	ソフトBの米携帯買収に横やり	単著	2013年6月	メディア展望(618号)		22	無
13	金山勉	米公共TVが大規模合理化	単著	2013年7月	メディア展望(619号)		14	無
14	金山勉	ソフトバンクが米携帯第3位を買収	単著	2013年8月	メディア展望(620号)		27	無
15	金山勉	米WP紙、アマゾンCEOに身売り	単著	2013年9月	メディア展望(621号)		30	無
16	金山勉	米新聞界の構造的問題が浮き彫りに	単著	2013年10月	メディア展望(622号)		34	無
17	金山勉	CATV視聴者はじっくり型	単著	2013年11月	メディア展望(623号)		28	無
18	金山勉	マルチch分野で米通信大手が猛追	単著	2013年12月	メディア展望(624号)		34	無
19	金山勉	米CATV業界再編の動き加速	単著	2014年1月	メディア展望(625号)		27	無
20	金山勉	NYTがUSAトゥデー抜き、2位に	単著	2014年2月	メディア展望(626号)		37	無
21	秋葉武	過疎地における地域活性化——NPO法人砂浜美術館を事例として——	単著	2013年12月	協同組合経営研究誌 にじ(644号)		90-97	無
22	鄭雅英	韓国の「多文化政策」と多文化主義言説—移民政策の転換と展望—	単著	2014年1月	立命館経営学(52巻4,5号)		145-162	無
23	李康國	What are Fundamental Causes of Economic Growth?: A Review on Institutions, Geography and Gene (Korean)	単著	2013年10月	(42号)	Social Economics Review	177-205	有
24	石川亮太	近代東アジア史のなかの朝鮮華僑	単著	2013年11月	歴史と地理(669巻)		37-40	無
25	倉田玲	「寺院の信義則違反の不法行為が司法審査の対象とされた事例」	単著	2013年10月	新・判例解説 Watch (速報判例解説) (13号)		9-12	無

26	倉田玲	「禁錮以上の受刑者の選挙権剥奪が合憲とされた事例」	単著	2013年10月	新・判例解説 Watch (速報判例解説) (13号)		21-24	無
27	倉田玲	「公職選挙法第11条第1項第2号の憲法適合性の欠如」	単著	2014年3月	立命館法学(2013年6号)(352号)		182-218	無
28	桂島宣弘	「跨國界的歴史與東亜--从日韓思想史的視域思考」	単著	2013年4月	『南開日本研究』2012		189-204	無
29	Sachio Nakato	"Japan's Responses to the North Korean Nuclear Crisis: Responsive Engagement Perspectives,"	単著	2013年6月	The Journal of East Asian Affairs(27巻1号)		47-74	有
30	森類臣	博士論文「言論民主化運動から『ハンギョレ新聞』へ—韓国ジャーナリズムの変動過程に関する一考察—」	単著	2013年9月				
31	斐始美	「いま問われる朝鮮人「特攻隊員」の問題」	共著	2014年3月	『日韓歴史共同研究プロジェクト第15回・第16回シンポジウム報告書』日韓相互認識研究会	吉田裕・野木香里	114-126	

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	勝村誠	安重根東洋平和論からアジアの平和を考える	2013年8月	安重根遺墨と東洋平和を展望するセミナー	
2	勝村誠	中西伊之助と関東大震災	2013年9月	関東大震災90周年国際シンポジウム「関東大震災朝鮮人虐殺から90年、国家暴力と植民地主義を超えて」	
3	勝村誠	プロレタリア作家の故郷表象—中西伊之助にとっての宇治を中心に	2013年11月	日本社会文学会2013年度秋季大会	
4	勝村誠	朝鮮から見える日本、韓国から見える日本—コリア世界との関係をどう築くか	2013年11月	歴史教育者協議会近畿ブロック研究集会	
5	徐勝	「安部政権の軍事主義(Abetalism): 日米の持続可能なヘゲモニー(sustainable hegemony) 構想にいかに対処すべきか」	2014年2月	国際シンポジウム「西欧中心主義批判と2014年の朝鮮半島」	
6	庵途由香	「植民地近代」に関する研究動向—韓国の歴史学会を中心に	2013年10月	日本植民地教育史研究会	
7	庵途由香	強制動員問題の歴史的意味	2014年1月	Korea-Japan Intellectuals Bridge Round Table—日韓の理解・責任・未来のための提言集会	
8	山下高行	「塩花の木々バスに乗る—日韓労働組合運動の共通課題」	2014年1月	国際ハン民族財団、立命館大学コリア研究センター、建国大学校統一文学研究団共催『日韓の理解・責任・未来のための提言集会』	
9	佐々充昭	朝鮮近代における新宗教と国家神道との相克—植民地期の公共圏をめぐって—	2013年7月	『グローバル時代韓国的価値と文明研究: 朝鮮朝後期韓国の実学思想と民族宗教運動の公共性研究』第2次国際学術大会(円光大学宗教問題研究所、東京大学総合文化研究科主催)	
10	金山勉	災害報道のレジリエンス—南海トラフ巨大地震に備える放送メディア—	2013年6月	日本マス・コミュニケーション学会2013年度春季研究発表会	金山勉、内山光弘、佐々木智之、竹下誠一、福田充、菅井賢治

11	秋葉武	日本の CSR 史	2013 年 7 月	立命館大学コリア研究センター・ハン ギョレ経済研究所合同研究会	
12	秋葉武	過疎地における地域活性化 ——NPO 法人砂浜美術館 を事例として——	2013 年 8 月	JC 総研 第 26 回公開研究会	
13	秋葉武	Public Procurement in Japan	2013 年 10 月	The 4th Asia Future Forum /Era of Inclusive Growth: Innovation of Enterprise and Society (at Lotte Hotel Seoul)	
14	秋葉武	営利セクターと非営利セク ターの協働	2013 年 11 月	世界社会的経済フォーラム 2013 分科 会 (ソウル市主催 於:ソウル市役所 ホール)	
15	鄭雅英	日本における外国人管理政 策の問題点—韓国の多文化 政策との比較から—	2013 年 8 月	第 3 回中日韓言語文化比較国際シンポ ジウム	
16	鄭雅英	済州島出身在日朝鮮人の渡 航史と生活—済州島出身者 の生活誌調査から	2013 年 8 月	吉林大学東北アジア研究院と立命館大 学コリア研究センター学術交流協定締 結記念合同研究会	
17	鄭雅英	中国朝鮮族と朝鮮戦争	2013 年 11 月	第 14 回立命館大学コリア研究センター (RiCKS) 国際シンポジウム 「朝鮮戦 争を検証する—停戦 60 年目」	
18	李康國	Foreign Banks and Financial Development in Developing Countries, Workshop on Fiancial Evolution, Regulatory Reform and Cooperation in Asia	2013 年 5 月	IDEAs International Workshop, Seoul National University	
19	李康國	The End of Egalitarian Growth in Korea: Rising Inequality and Stagnant Growth after the 1997 Crisis	2013 年 5 月	WEA Conference on the Inequalities in Asia	
20	石川亮太	朝鮮開港期における華商の 対中国送金	2013 年 5 月	共同研究班「近現代中国における社会 経済制度の再編」	
21	石川亮太	朝鮮開港期における華商の 対上海送金について	2013 年 6 月	経済史セミナー	
22	Ryota Ishikawa(石 川亮太)	Chinese merchants in Colonial Korea and Their Trading Activity with Mainland China	2013 年 6 月	8th International Convention of Asia Scholars (第 8 回国際亜州学会議)	
23	石川亮太	朝鮮開港後における華商の 活動—日系金融機関との関 係を中心に—	2013 年 9 月	兼松セミナー	
24	Ryota Ishikawa	The Commercial Networks of Chinese Merchants in the Late Nineteenth Century Korea: the Case of Tongshuntai	2014 年 1 月	The second Bristol-Kyoto Symposium	
25	桂島宣弘	日本ナショナリズムと東ア ジア	2013 年 5 月	東アジア文化交渉学会第五回大会	
26	桂島宣弘	日本ナショナリズムと東ア ジア概念	2013 年 6 月	翰林大学校科学アカデミー国際学術シ ンポジウム	
27	桂島宣弘	「領土問題」を超える地平 を求めて (基調講演)	2013 年 8 月	韓国日本研究団体第二回国際学術大会 (韓国日本学会第 87 回学術大会)	
28	桂島宣弘	「近世帝国」の解体と十九 世紀前半期の思想の動向	2013 年 8 月	Symposium on Early Modern Japanese Values and Individuality	
29	Sachio Nakato	북한의 핵개발 계획에 대한 일본의 반응-대응형 관여의 관전으로부터	2013 年 4 月	새로운 핵위협시대, 지속 가능한 평화의 모색(Sustainable Peacebuilding in the New Era of Nuclear Insecurity)	
30	Sachio Nakato	JAPAN' S RESPONSES TO THE NORHT KOREAN NUCLEAR	2013 年 6 月	Cooperation & Challenges of the Asia-Pacific Era	

		CRISIS: IS JAPAN GOING TO REARM?			
31	Sachio Nakato	“The Expectations and Roles of Korean Unification for Japan,”	2013年11月	The Future of Korean Unification: Expectations and Roles of the US, China, Russia and Japan	
32	森類臣	韓国の言論民主化運動に関する一考察—1970年代の東亜自由言論守護闘争委員会を中心に—	2013年5月	関西社会学会第64回大会	
33	森類臣	Creation of “North Korea” image by Mass media in Japan	2013年11月	2013 International Conference for East Sea Rim’s Networks and Institutionalization、Institute of Global Affairs (IGA) of Kyung Hee University	
34	斐始美	「朝鮮人虐殺の前奏曲と震災後もう一つの虐殺—新潟県中津川と三重県木本の朝鮮人労働者虐殺事件」	2013年9月	関東大震災90周年国際シンポジウム「関東大震災朝鮮人虐殺から90年、国家暴力と植民地主義を超えて」	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第55回 RiCKs 月例研究会	衣笠キャンパス	2013年4月	18名	
2	西江大学社会科学研究所(韓国)と学術交流協定締結 協定締結記念セミナー開催	衣笠キャンパス	2013年4月	20名	
3	第56回 RiCKs 月例研究会 映画「二つの扉」上映会	衣笠キャンパス	2013年5月	20名	
4	『「二つの扉」—韓国・ソウル再開発地域での惨劇—』上映会	朱雀キャンパス	2013年6月	105名	慶應義塾大学総合政策学部李洪千研究室、北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院東アジアメディア研究センター
5	第57回 RiCKs 月例研究会	衣笠キャンパス	2013年6月	15名	
6	立命館大学コリア研究センター・ハンギョレ経済研究所合同研究会	衣笠キャンパス	2013年7月	18名	
7	第58回 RiCKs 月例研究会	衣笠キャンパス	2013年7月	15名	
8	第8回次世代研究者フォーラム「朝鮮戦争停戦60年からみた東アジア」	衣笠キャンパス	2013年8月	延べ94名	
9	第12回東アジア青少年歴史体験キャンプ 「古都・京都で交流し、平和・和解を若者の手で—歴史・国境問題を学び、東アジアの平和を展望しよう—」	衣笠キャンパス	2013年8月	延べ150名	第12回日中韓青少年歴史体験キャンプ実行委員会、立命館大学コリア研究センター、社会科学院近代史研究所(中国)、社会科学文献出版社(中国)、アジアの平和と歴史教育連帯(韓国)
10	吉林大学東北アジア研究院(中国)との学術交流協定締結同研究院との合同セミナー	吉林大学	2013年8月	30名	吉林大学東北アジア研究院
11	延辺大学東アジア協同創新センター(中国)との合同セミナー	延辺大学	2013年8月	30名	延辺大学東アジア協同創新センター
12	関東大震災90周年国際シンポジウム 「関東大震災朝鮮人虐殺から90年、国家暴力と植民地主義を超えて」	衣笠キャンパス	2013年9月	112名	独立記念館韓国独立運動史研究所
13	第59回 RiCKs 月例研究会	衣笠キャンパス	2013年10月	14名	
14	韓国映画『チヌル』を見て済州4・3事件を考える集い	同志社大学	2013年11月	150名	京都コリア学コンソーシアム、北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院東アジアメディア研究センター、

					日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) 「韓国の地域社会における市民事業の展開とローカル・ガバナンスに関する研究」(課題番号25380181)
15	Global Social Economy Forum 2013 BS16「Social Economy through Cooperation between Profit Sector and Non-profit Sector」	ソウル	2013年11月	50名	ハンギョレ経済研究、聖公会大学社会的企業研究センター
16	第60回RiCKS 月例研究会	衣笠キャンパス	2013年11月	11名	
17	第14回立命館大学コリア研究センター国際シンポジウム 「朝鮮戦争を検証する—停戦60年目」	衣笠キャンパス	2013年11月	81名	東国大学北韓学研究所
18	立命館大学政策科学研究科オープンリサーチセミナー&立命館大学コリア研究センター特別研究会	衣笠キャンパス	2013年11月	18名	立命館大学政策科学研究科オープンリサーチセミナー
19	座談会「行動する詩人・宋竟東、彼の作品活動と人生を聞く」	衣笠キャンパス	2013年12月	13名	
20	『塩花の木』の著者・金鎮淑さん来日講演会	朱雀キャンパス	2013年12月	77名	
21	第61回RiCKS 月例研究会	衣笠キャンパス	2013年12月	14名	
22	第62回RiCKS 月例研究会	衣笠キャンパス	2014年1月	21名	
23	国際シンポジウム「Korea-Japan Intellectuals Bridge Round Table 日韓の理解・責任・未来のための提言集会」	朱雀キャンパス	2014年1月	102名	国際ハン民族財団、建国大学校統一人文学研究団
24	国際シンポジウム「西欧中心主義批判と2014年の朝鮮半島」	西江大学	2014年2月	30名	西江大学社会科学研究所、SSK 南北韓統一と社会変化研究チーム、SSK 西欧中心主義批判研究チーム、韓国学先導センター、
25	第7回強制動員真相究明全国研究集会「強制動員問題解決への道」	衣笠キャンパス	2014年3月	100名	:強制動員真相究明ネットワーク

5. その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	勝村誠	大学コンソーシアム京都理事長賞	キャンパスプラザ京都	2006年12月10日～
2	勝村誠	教育機関の連携による人材育成	大学時報 319号 56-63 ページ	2008年3月～
3	権学俊	私の留学目的と日本生活	横浜市国際交流協会主催 市民講座、横浜産業貿易センター	1998年8月～
4	権学俊	「スポーツナショナリズム — ナショナリズムを超えて平和に寄与する」	『Sansha de Entertainment』、立命館大学産業社会学部 p.4	2008年～
5	権学俊	「相互関心と理解こそ「交流」の基」 『韓国訪問記』 pp.3-4 韓国社会文化研究会		2009年10月～
6	権学俊	昭和史再訪 第1回国民体育大会	『朝日新聞』夕刊、p.5	2010年10月9日～
7	佐々充昭	韓国民族宗教協議会主管「日帝の韓国民族宗教弾圧政策研究」プロジェクト(1995-1997)参加	『日帝の韓国民族宗教抹殺策』(ソウル翰林院、1998年11月、原文韓国語) 第1部第3章「類似宗教・邪教概念の政策的樹立過程とその意義」(54～72頁)において、筆者の韓国語訳した日本語資料が掲載	1998年11月～
8	佐々充昭	「韓国における新宗教の過去と現在 (1): 大巡思想を中心に」 パネルセッション	第19回国際宗教学宗教史学会世界大会 (IAHR: 東京) パネルセッション No.04D	2005年3月26日～

		セッションのコーディネートと韓国語から日本語への通訳		
9	佐々充昭	金鍾端（韓国宗教学会会長・ソウル大学宗教学科教授）氏の講演「韓国宗教と宗教学」の通訳	日本宗教学会第64回学術大会公開シンポジウム	2005年9月9日～
10	佐々充昭	書評：川瀬貴也著『植民地朝鮮の宗教と学知－帝国日本の眼差しの構築－』	『宗教と社会』第17号、「宗教と社会」学会、72～77頁。	2011年6月～
11	妻始美	「植民地期朝鮮人留学生の運動」	同志社大学日朝関係史講座	2013年6月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	文京洙	韓国の地域社会における市民事業の展開とローカル・ガバナンスに関する研究	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
2	権学俊	近現代日本社会における天皇制とスポーツ	若手研究(B)	2012年	2015年3月	代表
3	佐々充昭	中国東北部における韓国系独立運動関連史跡の観光地化に関する研究	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
4	秋葉武	政治的流動化過程における日韓NPO	基盤研究(C)	2012年	2015年3月	代表
5	鄭雅英	中国朝鮮族の移住労働における女性の役割と「トランスナショナルな家族」の研究	基盤研究(B)	2012年	2015年3月	代表
6	石川亮太	朝鮮開港後における華商の貿易決済－東アジア地域史の視点から	若手研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表
7	桂島宣弘	東アジアにおける翻訳語ネットワークの形成と近代学術知に関する思想史的研究	基盤研究(C)	2011年	2014年3月	代表
8	妻始美	大正～昭和戦前期、東京における東アジアの思想交流	若手研究(B)	2013年	2016年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1						

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1								

以上。